

[議案第24号] 令和3年度鹿角市一般会計予算

湯の駅おおゆ販売体制強化事業

問 カフェスペース増床改修の目的と今後の目標は。

答 繁忙期にはカフェスペースが非常に混み合い、飲食を諦めて帰られる方もいるため、その飲食の需要に見合う集客力の向上を目的として飲食スペースの増床改修を行う。また、客席を増やすことにより、売上額と入込者数それぞれを1.3倍とすることを目標としている。

問 湯の駅おおゆの今後の取り組みは。

答 湯の駅おおゆの全体的な販売力の強化が必要であると考えており、直売所の販売スペースの拡充やレイアウトの工夫、市日スペースの活用、イベントの積極的な開催を行っていきながら、大湯の周辺の方々と連携していく体制を作りたい。

果樹経営承継支援補助金

問 補助の内容は。

答 本事業は、高齢化等による樹園地の廃園予定地を引き継ごうとする新規就農者、増反希望者に経営承継が図られるよう樹園地の借入費用や買取費用もしくは初期投資費用として補助金を交付するもので、本事業によりまだ収穫可能な樹園地の受け皿となる第三者承継を進めてまいりたい。

地域内連携推進事業

問 開発を進めているメイドイン鹿角製品の事業内容は。

答 企業連携による付加価値の向上を目指して最終製品の製造を目指すモデル事業で、令和3年度は農業用水路などの小さい河川にも設置可能な小水力発電機を開発する予定である。この商品開発により、市内製造業から調達した部品による鹿角モデルの製品を作り出したい。

安全安心住まいづくり事業

問 事業の内容は。

答 これまでの民間住宅リフォーム支援事業の内容を見直し、耐震改修、克雪対策、バリアフリー対策、上下水道の接続工事を対象として支援する。また、65歳以上の世帯員で構成されている高齢者世帯、または18歳未満の子供がいる子育て世帯は、これまで同様の住宅改修について支援することとしているほか、新たに子育て世帯の支援として、中古住宅の改修・購入費用、下水道の接続費用について補助対象事業を拡充する。



湯の駅おおゆカフェスペース

鹿角市議会全員協議会

1月22日並びに、2月15日において、全員協議会を開催し次のとおり説明を受けました。

◆1月22日

「株式会社かづのパワーの現況と今後の方向性について」

株式会社かづのパワーは本市の優位性を生かした電力の地産地消による地域活性化の実現を目的に、第三セクターとして会社設立に至ったものであるが、電気仕入れ額の異常と言え、スピードでの高騰により、今後の運営について検討した結果、このまま継続することは困難であり、解散も視野に入れ進めなければならぬ状況である、との説明を受けました。

議員からは、株式会社かづのパワーの今後の方向性についての質問・意見が出されました。

◆2月15日

「第7次総合計画前期基本計画（案）、第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）、公共施設等総合管理計画（案）、かづのパワーの今後について」

第7次総合計画前期基本計画（案）については、昨年9月に開かれた全員協議会やかづの未来会議での意見を踏まえた上で

計画の策定に至ったもので、戦略目標達成のための取組方針や施策について説明を受けました。

第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）は、第7次総合計画の内容を地方創生の視点で構成し直したもので、「稼ぐ力」「つながり・人の流れ」「結婚・出産・子育て」「地域づくり」の分野で集中的に取り組むとの説明を受けました。

公共施設等総合管理計画（案）は、市が保有し、現に利用に供している全ての公共建築物について、効率的で経済的な管理に向けた方針を取りまとめたものですが、国の見直し要請を受けて見直すものであるとの説明を受けました。

議員からは、第7次総合計画前期基本計画（案）の事業展開の方向性や計画の策定に対する質問・意見が出されました。

また、かづのパワーの今後については、市が補助金による支援をしながら、市の再生可能エネルギーを活用した小売電気事業の再開に向けて事業継続に必要な支援を行うとともに、持続可能な事業のモデル構築に必要な調査・検討を行うとの説明を受けました。

議員からは、今後の見通しや補助内容についての質問・意見が出されました。